

【施設効果事例】 神ガ丘地区 急傾斜地崩壊対策事業 (大阪府河内長野市神ガ丘)

災害発生日：令和5年6月2日

降雨状況：連続雨量 224mm

時間最大雨量 36mm

※鳩原雨量観測所

発生箇所：大阪府河内長野市神ガ丘

崩壊状況：捕捉量(土砂) 約10m³

対策施設：待受け擁壁

状況：当該施設は府単独事業により対策工事を実施し、令和4年6月に完成した。令和5年台風第2号に伴う大雨によりがけ崩れが発生したが、施設が土砂を捕捉し、がけ下の住宅への被害を未然に防止した。

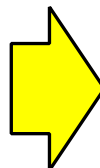
位置図



全景



がけ崩れ発生前 (R4.4撮影)



がけ崩れ発生直後 (R5.6撮影)

